

【災害時の情報伝達】

やさしい日本語での防災行政無線放送について

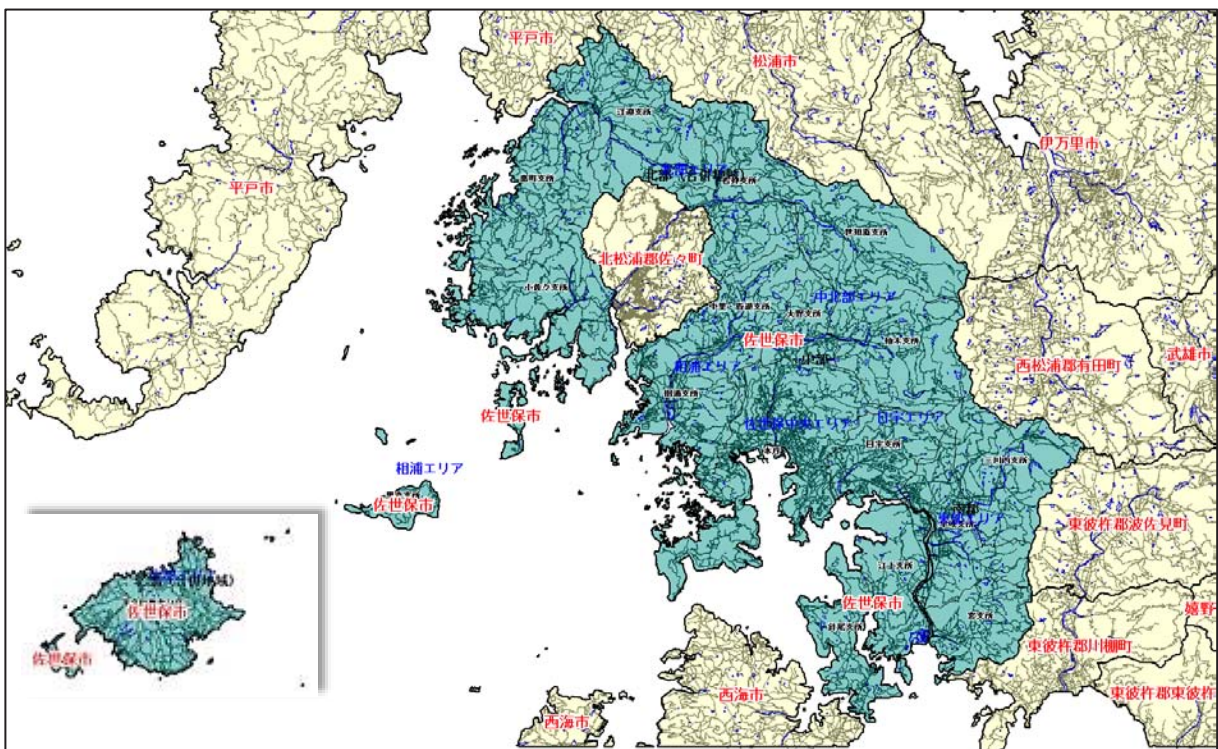
佐世保市防災危機管理局

1. 佐世保市の概要

本市は、九州の北西端、長崎県の北部に位置し、総面積約 426 k m²、人口約 25 万人の中核市である。地勢面では平坦地に乏しく、いたるところに山岳丘陵が起伏し、海岸線はリアス式海岸で、点在する島の数は 208 に及ぶ。これらの島々は九十九島と呼ばれており、生月・平戸島、五島列島と合わせて西海国立公園にも指定されている。

市街地に目を向けると、中心部には切れ目が無い直線に連なった日本一の長さを持つ全長 960m のアーケードがあり、商店街が軒を連ねるほか、「佐世保バーガー」の愛称で知られるハンバーガーの店舗が数多くあることで有名な街でもある。

また、本市には米海軍佐世保基地があり、そこで働く外国人及びその家族の人数は約 6,000 人に上る。そのほか、市内には大学も 2 校あり、外国人留学生が多数在籍している。さらには、近年外国からのクルーズ船受け入れを積極的に行っており、たくさんの外国人が訪れるなど、日常的に外国人の多い街である。



2. 取組みのきっかけ及び内容

(1) 取組みのきっかけ

きっかけは、防災行政無線等で放送を行う際、外国人や障がい者等に対してわかりやすく情報を伝えるために、佐世保市ではどのような取組みを行っているか疑問を持たれた市民からの1通のメールであった。

従来、本市が行っていた防災行政無線の放送は、文面が長くなならないよう端的に放送を行うことを考えた内容となっていたものの、わかりやすい表現や聞き取りやすい言葉の使用には特に配慮されていなかったほか、市のホームページにあらかじめ放送文例等の紹介を行っていなかったこともあり、必要な情報をわかりやすく伝達するためにはどのような方法が効果的なのかについて協議をした。

(2) 取組み内容

外国人や障がい者に配慮した対応について他の自治体の取組みを調査したところ、多言語での放送や「やさしい日本語」を使用した放送、日本語とその他外国語を使用した登録制メールの配信のほか、視覚障がい者向けにホームページの読み上げ機能など様々な事例があり、本市では「やさしい日本語」を使用した防災行政無線の放送を採用することにした。

「やさしい日本語」とは、弘前大学人文学部社会言語学研究室を中心に提唱されている、普通の日本語よりも簡単で外国人にもわかりやすい日本語と定義された、災害が起こった時に必要な情報を伝えるために有効な言葉である。例えば、「避難」⇒「逃げる」や「危険」⇒「危ない」などわかりやすく表現することで放送を聞いた外国人が簡単に理解できる内容にするというものである。


| 土砂災害発生時（避難準備・高齢者等避難開始） | |
|---|--|
| <p>【やさしい日本語未使用】</p> <p>こちらは防災佐世保市です。</p> <p>〇〇地区の降水量が増加したことに伴い、土砂災害の危険性が高まっているため、避難準備・高齢者等避難開始を発令しました。避難場所へ避難する準備をしてください。高齢者等は避難を開始してください。</p> | <p>【やさしい日本語使用】</p> <p>こちらは防災佐世保市です。</p> <p>〇〇地区にたくさんの雨が降りました。がけが崩れるかもしれません。安全なところに逃げる用意をしてください。逃げるのに時間がかかる人は今すぐ安全なところに逃げてください。</p> <p><u>これは避難準備・高齢者等避難開始の発令です。</u></p> |

| 河川増水（避難勧告） | |
|--|---|
| <p>【やさしい日本語未使用】</p> <p>こちらは防災佐世保市です。 ○○川の水位が、避難判断水位を越えたことに伴い、避難勧告を発令しました。 沿岸の住民は直ちに避難場所へ避難してください。</p> | <p>【やさしい日本語使用】</p> <p>こちらは防災佐世保市です。 ○○川の水が溢れそうです。 川の近くに住んでいる人は今すぐ安全なところに逃げてください。 <u>これは避難勧告の発令です。</u></p> |

※放送の最後に一文付け加えることで、この放送が避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告であることを周知することになっている。

このことは、外国人のみならず障がい者やお年寄り、子供など、災害が発生し避難しなければならない場合に配慮が必要となる要配慮者への対応にも有効であると考え、従来の放送文例を修正し災害発生時に活用することにしたほか、普段、市の情報をお知らせする行政放送についても「やさしい日本語」を使用し、さらに繰り返し放送を行うことで、より伝わりやすい放送を心がけるようにした。

また、市のホームページに「やさしい日本語」についての説明及び放送文例を掲載することで、発生した災害の種類に応じてどのような放送がなされるかをお知らせするようにした。



ホーム > 安全・安心 > 消防・防災 > 市の防災対策 > 防災行政無線 > 防災行政無線での放送文例 (やさしい日本語)

ツイート
いいね!
G+
更新日：2016年6月21日

防災行政無線での放送文例（やさしい日本語）

やさしい日本語を使って放送をします

災害が起きるかもしれない場合や災害が起きたときに、防災行政無線で放送する内容は「誰にでもわかりやすく」でなければなりません。

佐世保市では、「やさしい日本語」を使って、「簡単に理解できる」放送を目指します。

放送の文例

防災行政無線で放送を行うときの放送文の例を以下に示します。

サイレンが鳴ったら、特に危険が近づいているということに気づいてください。

台風が近づいているとき（自主避難）

【チャイム音】

こちらは、防災佐世保市です。
佐世保市からのお知らせです。

台風が佐世保市に近づいています。
テレビやラジオをつけて、台風の動きや雨の降り方を知りましょう。
家に居るのが危ないときは、早めに安全な場所に行きましょう。

以上、佐世保市からのお知らせでした。

【チャイム音】

3. 取組み後の効果

「やさしい日本語」を使用した放送を開始してから、しばらくして要配慮者施設の職員の方から「前に比べて放送が聞きやすくなった」とのご意見をいただいた。

また、地区の防災訓練を行った際に「やさしい日本語」を使用しての避難訓練放送を行った時には、同地区に居住する外国人の家族も避難訓練に参加するなど、目に見えた効果を実感することもあった。

これらの取組みによって外国人や障がい者にも災害に関する情報をできる限りわかりやすくお知らせすることができ、その他の市民についても安全・安心な生活を送るための一助として一定の効果が期待できるものと確信している。

4. おわりに

防災行政無線での放送は、その内容や運用方法について市民から多数のご意見をいただき、対応が困難な場合もあるが、できることから取組んでいくことで、外国人や障がい者だけでなく、すべての市民に対してより良い情報伝達が可能になるものと考えている。

また、大規模災害発生時一人でも多くの市民の命が守られるよう防災対策の一手段として、今後も「やさしい日本語」でわかりやすい情報伝達に努めていきたいと考えている。